



# やまがた

No. 179

2023. 5. 1発行  
岩手県山田町議会

## 議会だより



### シリーズ 家族の笑顔

長崎地区在住の阿部さん家族。  
町への提言、思いを伺いました。  
(関連記事P20)

3月  
定例会

豊間根地区

総合整備計画を可決 — 2P

予算特別委員会

5年度一般会計予算 — 4P

町政を問う (一般質問10人登壇) — 8P

# 豊間根地区

## 総合整備計画を可決



約半世紀豊間根地区の寄合所として使われています

### 3月 定例会の あらまし

令和5年3月定例会は2月10日から3月10日まで29日間にわたって開かれました。初日には、5年度の町長施政方針演説などが行われました。  
また、町長提案の議案33件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜3ページ)

5年度の一般会計、特別会計などの予算8件は、予算特別委員会を設置し、3月8日、9日、10日の3日間にわたって集中審議し、全て原案のとおり可決しました。(4〜7ページ)  
一般質問では10人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(9〜18ページ)

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、6月下旬ごろから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。

#### 豊間根地区の集会施設と消防団屯所の「移転整備」や、農業経営の安定化などを図るため、豊間根辺地に係る総合整備計画を定めることについてが提案され、全員賛成で可決しました。

令和5〜7年度にかけ、豊間根生活改善センターに替わる新たな集会施設の整備を含めた5事業が行われます。

#### ■総合整備計画の内容

##### ①豊間根生活改善センターの「移転整備」

豊間根地区の主要集会施設の豊間根生活改善センターは、昭和49年に建設・供用された施設です。建物が老朽化していることから、

「移転整備」が計画されています。

##### ②町消防団第12分団屯所の「移転整備」

同地区の消防活動の拠点となる第12分団屯所建物が老朽化していることから、「移転整備」が計画されています。

##### ③耐震性貯水槽を整備

②の整備と合わせ、消防水利の不足地域を解消し、迅速な消火活動ができるように貯水槽の整備が計画されています。

##### ④田名部地区圃場整備

同地区の農地は土水路排水や狭い農道などにより効率的な営農が難しいことから、県事業による圃場整備のための事業計画や営農ビ

ジョンの作成が行われます。

※圃場とは、水田や畑、牧草地などの農地のことで、田圃(たんぼ)の「圃」でもあります。

##### ⑤町道新田・繋線の道路改修

この道路は道幅が狭く、側溝にふたがないことや、舗装が劣化していることから、側溝と舗装の改修が計画されています。

豊間根地区にはこの計画のほかに、山田北インターのフル化、羽々の下工業団地の整備なども動き出しており、企業誘致などによる働く場の確保にも注目が集まります。  
豊間根の将来を見据えた計画が今、動き出します。

# 定例会 主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

## ■新たにコミュニティセンターを2カ所設置

大沢地区の新たなコミュニティ施設「山田町立大沢ふるさとセンター」と、山田北小学校の閉校に伴い廃止された山田北地区放課後児童クラブを「山田町立山田北コミュニティセンター」として設置する条例改正案が提案され、全員賛成で可決しました。

## ■4年度一般会計補正予算（第6号）

復興事業の事業費確定に伴う国庫返還金の計上、年度末に向けたそれぞれの収入見込み額や執行予定額をもとに予算の調整を行うための補正予算（第6号）が提案され、総額136億555万円となりました。

## ■5年度一般会計補正予算（第1号）

令和5年4月から町内の小中学校の児童生徒の給食費負担を無償とし、ふるさと納税の寄付金（ふるさと応援基金）を財源とする予算の組み替えを行うための補正予算（第1号）が提案され、全員賛成で可決しました。

※この号の金額の記載は、個別の記載がない限り、全て1万円以下切り捨てです。

# 討 論

## 《令和5年度一般会計予算》



よこた たつひさ  
横田 龍寿 議員

賛  
成

山田町民の心を一つに  
町と議会が一丸となって頑張りたい

賛成の立場から、都市型スポーツ等整備促進事業と林産物展示販売施設改修事業の2点を取り上げる。

都市型スポーツ等整備促進事業について、20代の息子・娘さんを持つ親御さんからこう言われる。「山田町に残りたいと思っても、働く場所と、遊ぶ場所が無い。それで都市部に行かざるを得なくなる。」私個人としては、交通網が発達していることから、遊ぶ場所は都市部に任せて、働く場所、子育て環境の整備をすれば良いと思っていた。スケートボードが東京オリンピックの種目に採用された時から、主に誘客を目的と考え、スケートパークの整備について一般質問していたが、若者の地元定着に一役買う事業としても有為であると気付かされた。一粒で2度・3度とおいしい、そんな事業として育てほしいと切に願うものである。

次に、林産物展示販売施設改修事業である。はじめ、3者共同のところは管理者候補となったと聞いた時に、てっきり現・道の駅、若手の方、施設管理専門の企業の3者共同だとばかり思っていた。現実には違った。現・道の駅と、新・道の駅の構成員の年齢構成から見ても、このことが先輩方と我々の世代との世代間の争いに発展してしまうのではないかと一時呆然とした。実際、私の肌感覚ではあるが、世代間で溝が出来かけていると感じており、心を痛めている。そこで、この状況を打破するために何ができるのか。やはり端的には、現・道の駅が再度、道の駅の指定を取ることである。新年度予算は新・道の駅の予算が際立っているが、私はあえて、林産物展示販売施設改修事業を取り上げる。佐藤町長は、再度道の駅の指定を目指すと言明した。そしてそれを有言実行する新年度予算である。原則、1市町村1道の駅であり、前途多難ではあるが、当町は無料区間のハイフインターをフル化する全国初の自治体である。山田町民の心を一つに保つため、町当局、議会一丸となって頑張りたい、心の底からそう思うものである。

# 暮らしにつながる予算を議論

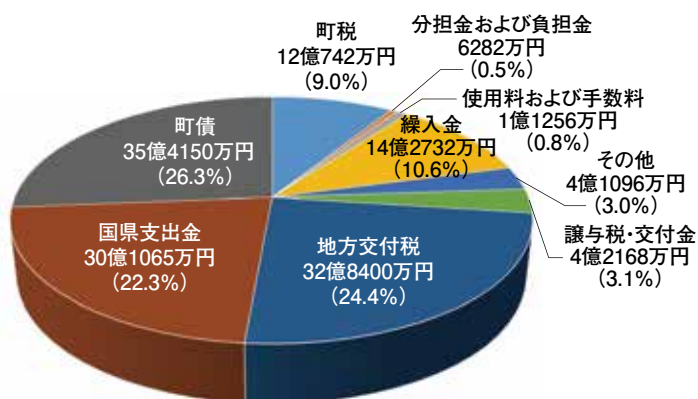
5年度予算について、予算特別委員会（関清貴委員長）を設置して3月8日、9日、10日に審議しました。

一般会計では、歳入歳出それぞれ134億7893万2千円となり、前年度当初予算との比較では、22億5856万9千円、率にすると20.1%の増となりました。増額となった主な要因は、山田小学校放課後児童クラブの建設や林産物展示販売施設改修など、大規模な施設の建設費が計上されたことによるものです。

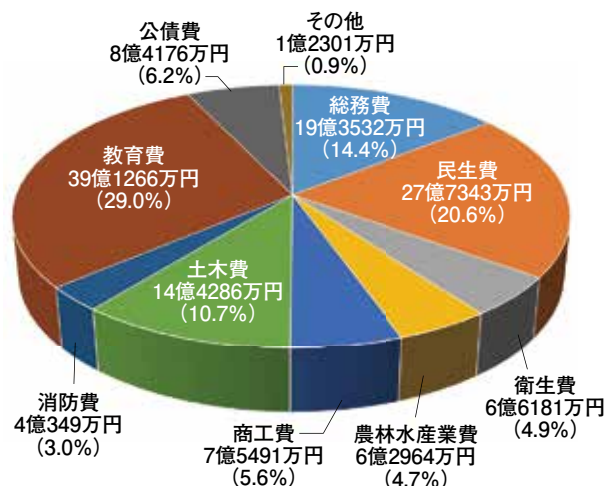
予算特別委員会での集中的な審議の結果、一般会計など全8会計を原案のとおり可決しました。予算特別委員会の審議内容は6～7ページをご覧ください。

## 一般会計予算 134億7893万円

### 《歳入》



### 《歳出》



※グラフの中の額は、端数処理の関係から構成割合が合わない場合があります。

### 各会計の予算額と増減率

会計名		5年度予算額	増減率
一般会計		134億7893万円	20.1%
特別会計	国民健康保険	21億1494万円	△1.7%
	後期高齢者医療	2億824万円	△0.4%
	介護保険（事業勘定）	18億8785万円	△0.2%
	介護保険（サービス事業勘定）	349万円	△5.7%
	漁業集落排水処理事業	1億9376万円	14.1%
	公共下水道事業	4億1891万円	△14.4%
水道事業会計	収益的支出	3億7010万円	△1.8%
	資本的支出	2億1447万円	△17.6%

※1万円未満切り捨て

※表中の額は、端数処理の関係から増減率が合わない場合があります。

1億7935万円

# 林産物展示販売 施設改修事業



屋根の塗り替えや内外装などの改修、各種設備の更新に加え、時代のニーズに合った施設とするため、新たに展望テラスや子育て応援施設を設置するなど、全面的な改修工事を実施します。

前年度比  
**88%UP**

2828万円

# つくり育てる漁業の 再生事業



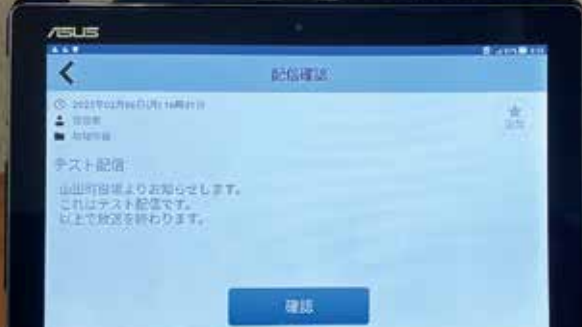
漁業所得の向上を目指します。

# 新年度目玉事業 ピックアップ

新年度に実施予定の多くの事業から、注目の事業を取り上げてお知らせします。6・7ページでは、予算特別委員会の審議内容を掲載しています。

1218万円

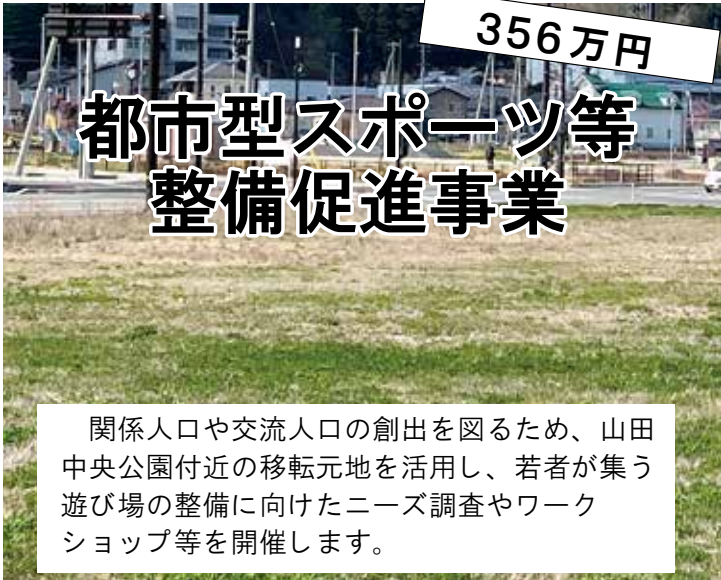
# 一斉情報配信 システム整備事業



各種インターネット媒体へ情報を同時に配信できる「一斉情報配信システム」を整備し、情報伝達体制を強化していきます。

356万円

# 都市型スポーツ等 整備促進事業



関係人口や交流人口の創出を図るため、山田中央公園付近の移転元地を活用し、若者が集う遊び場の整備に向けたニーズ調査やワークショップ等を開催します。

100万円

# 妊産婦タクシー代 補助事業



通院における妊産婦の安全を確保するとともに、経済的負担の軽減を図るため、妊産婦健診や出産にかかる通院費のうち、タクシー代の一部を助成します。

## 木を伐採できないか

大沢川

### 県委託金を調整し一部箇所の伐採を行う

**問** 大沢川は県の管轄だと思うが、木が大きくなり大変な状態になっていると地区民から要望があった。町として伐採できないものか。

**建設課** 大沢川の樹木の伐採については、昨年の要望活動の際に町長から県に対し直接申し入れを行ったところだが、現在、5年度中に実施されるよう県宮古土木センターと交渉を進めている。町としては地域住民の不安低減のためにも、当面の策として、今年度県から交付されている河川維持修繕委託金を調整し、3月中に町直営で一部箇所の伐採を行う予定としている。

**意見** 早急に対策をお願いする。



左上写真  
伐採前の大沢川（町勤労者体育センター付近）

右下写真  
3月中に伐採が完了しました。



## システム構築後の戸別受信機の扱いは

防災

### 親局を更新し引き続き運用する

**問** 一斉情報配信システムの内容は。

**危機管理室** ホームページ、各社の緊急速報メール、ツイッター等の各種インターネット媒体に対して、町側で一つの端末、一回の操作により一斉配信するシステムとなる。

**問** 今までは防災行政無線が聞こえないので戸別の受信機をつけるという議論をしてきた。今回このようなシステムを構築するに当たって、これまでの議論はどのような扱いになるのか。

**危機管理室** 戸別受信機については、親局を更新し、現在あるものは運用していく。将来的には一斉情報配信システム専用の戸別受信機にも送信できるとのことなので、今後その詳細、方向性を検討していく。

林業

## 地域林政アドバイザーとは

### 各種制度の助言や指導を行う

**問** 地域林政アドバイザーとはどのような方がどのようなことをするのか。

**農林課** 森林・林業に関して知識や経験を有する、森林総合監理士や認定森林施業プランナーなどを雇用し、森林・林業行政の推進を図ろうとするもの。主な活用方法は、森林環境譲与税を活用した各種制度の助言や指導などとなる。

防潮堤

## 落下防止柵の設置を

### 県と現地回り協議を続ける

**問** 関口川の水門工事も終わり、水門付近には手すりや落下防止柵がついたが、それ以外のところはどうか。

**水産商工課** 必要箇所には設置する方向で県と協議をしている。新年度すぐに現地を一緒に回る。

**要望** すでに散歩コースとなっている。なるべく急ぐようお願いする。

耐震改修

## 町民の意識を高めるため周知を 事業の普及促進に努める

**問** 木造住宅耐震改修助成事業が125万円で計上されているが、金額的に少ない気がする。どのような内容か。

**都市計画課** まず耐震診断を受けていただき、その結果倒壊する恐れがあると診断を受けた方が行う耐震改修工事費に対する助成金となる。件数は2件分、62万8000円を改修に係る経費の上限額とし、交付するもの。

**問** 大地震の危険性が高まっている中で、個人の住宅も診断を受けて、被害を少なくするようにしなければならない。2件というのは、これまでの実績でもその程度だったのか。

**都市計画課** 実績は0件。耐震改修が行われていない部分については、普及促進に努める。

**要望** 町民の方々の意識を高めるうえでも、周知をお願いする。

公民館

### トイレ改修工事の内容は

#### 洋式化を進める

**問** 中央公民館トイレ改修工事の内容は。

**生涯学習課** 便座の洋式化と洗浄式便座に改修する予定としている。

**問** 多目的トイレの改修は。また、使えない間の対応は。

**生涯学習課** 多目的トイレも改修する。使えない間は、コミュニティセンターを利用していただくか、1階と2階を分けて工事することで、利用者に不便をかけないように配慮する。

住宅改修

### 災害公営住宅でも使用できるか

#### 災害公営住宅も対象となる

**問** 介護保険特別会計の住宅改修給付費は、災害公営住宅に住んでいる方も使用できるか。

**長寿福祉課** 住宅に対する改修ということなので、それが災害公営住宅であっても対象となる。

**要望** 災害公営住宅に住んでいる高齢者が多くいる。大々的にPRをお願いする。

教育支援

## 学校支援員の活動内容は

### 教職員のサポートが主な業務

**問** 学校教育相談員はどのような人になってもらい、どのような活動をしているのか。

**学校教育課** 特別支援学級や、小学校新1年生、学校生活に慣れていない方の学習支援のための職員となる。基本的には教職員のサポートを主な業務としている。募集に関しては、教育に理解のある方、児童生徒の話を聞ける方を募集している。

**問** 募集して人数は充足しているのか。

**学校教育課** 今のところ12人の応募があり、1人まだ足りていない。追加の募集等を行っていききたい。



学校に来るのが楽しいと感じる  
仕組みづくりが求められます



# 一般質問

# 10人登壇

# 町政を問う

3月定例会での一般質問は、3月2日と3日の2日間に行われ、10人の議員が一般質問をし、活発な議論が展開されました。

質問議員 (質問順)	質問事項	掲載 ページ
山崎 泰昌	○水産業活性化の施策について ○教育現場の現状について	9
昆 清	○介護の人材確保、育成、新規事業計画について ○斎場の整備について ○道路の整備について ○放課後児童クラブの施設開放について ○児童生徒の用具購入費の負担について	10
坂本 正	○少子化対策について ○学校給食について	11
菊地 光明	○豊間根地区の振興について ○東日本大震災及び台風被害について ○施政方針について ○山田町教育行政に関する所信について	12
木村 洋子	○小学校の統合について ○交通網について ○建物の耐震化について	13
佐藤 克典	○山田北インターについて ○移住定住について ○観光の振興について	14
豊間根 信	○農林漁業振興の現状と課題について ○荒川地区の養鶏場の煙害・悪臭への対応について ○小中学校教育の現状と課題について	15
黒沢 一成	○豊間根地区の集会施設について ○山田中央公園周辺の整備について ○図書館等について	16
横田 龍寿	○森林環境譲与税の用途について ○消防団員活動補助金について ○国土調査事業について ○新小学校建設に係る学校のプールについて ○第50回東北総合体育大会相撲競技について	17
関 清貴	○施政方針について	18

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。議員の質問時間は1人25分以内で、町側の答弁時間は含みません。紙面の都合上、掲載できなかった一般質問は、6月下旬ごろから議会ホームページ、図書館で閲覧可能となる予定です。





議員 山崎 昌和  
（政和会）

## 問 教育現場の現状は

## 答 安心な学校生活を送れるよう努める

**問** 中学校においてテストの実施が中止になった事案があったようだが、事実か。

**芳賀教育次長** そのような事態があったことは事実である。事態の解決に向け学校と連携していく。

**問** 安心な学校生活を送れるための方針は。

**佐々木教育長** 生徒の行動上の問題に指導がうまく適応できていない部分もあったので、関係機関等の協力も得ながら、今後対応していきたい。



安心して学べる体制づくりが急務です

## 問

## 水産業活性化の施策は

## 答

## 新たな支援策に取り組む

**問** 磯根資源増加を考える町の方針には賛同している。現在の事業の状況は。

**佐藤町長** 4年度は町補助を利用して海中林試験施設の設置を行っており、5年度は町事業としてナマコ資源造

成試験事業を行う。

**問** 「気象状況に影響されにくい新たな養殖手法」とは。

**町長** 情報収集の段階であり、企業や研究機関との連携も考えながら取り組む。

**問** 今年度はウニやアワビの水揚げが好調で、漁業者個人の収入増は町の活性化につながっており、行政の支援も成果を上げたと認識している。5年度も種苗放流事業への全額補助を行うとあるが、

新たな支援策である「浜の活力支援事業」の内容は。

**町長** 漁協が策定する「浜の活力再生プラン」に掲げる事業のうち国庫補助対象外の事業に対し町単独費として2分の1を補助する。

## 問

## 経済活性化の体制づくりを

## 答

## 観光資源の活用を進める

**問** 経済活性化を図るための「逆ストロー効果」を行う施策は。

**町長** 新・道の駅とリニューアルする現・道の駅との相乗効果により「山田町まるごと道の駅構想」を実現させたい。

**問** 一つの起爆剤として、新・道の駅、現・道の駅、その間のまち

なかに免税店があれば、免税店を目指して町に人が入ってくると思うがどうか。

**甲斐谷副町長** アイデアとしては良いと考えるが、難しい問題なので勉強したい。



議員 清 新 生 会  
（ 新 生 会 ）

**問** 介護施設の定員減少対策は

**答** 介護施設研修を実施

**問** 介護職員不足のため、施設の定員が減少することは、本町に限ったことではなく、現実的な社会問題であると捉えている。全国的な問題と考えているが、町として何か対策はあるか。

**答** うと考えている方、潜在的介護人材をできるだけ増やすため、3年度から介護に関する入門施設研修を実施している。4年度は12名が研修を受講している。受講理由を聞くと、家族介護の知識を得るためと、町道として何か対策はあるか。

**長寿福祉課長** 事業者との意見交換会を行った際、その監理団体の理事長にもおいていただき、事業の受け入れ態勢について説明を聞いた。大変良い評価を受けている一方、課題もあると感じた。今後勉強していきたい。

その他の質問

- ◆ 町道の段差への対応は
- ◆ 放課後児童クラブを中高生にも開放を
- ◆ 児童生徒の用具購入費の負担軽減を

**問** 斎場を樹木植栽で隠せないか

**答** マイナスイメージは与えない

**問** 新しい道の駅が7月にオープンすることに伴い、観光客が多く

訪れると思うが、インターチェンジから降りるとすぐ斎場が目にと

まり、環境的にいかなものかと考える。そこで、樹木等の植栽で目隠しできないか。

植え替えの成果が待たれる山田斎場

**佐藤町長** やまだ斎苑の建設に当たっては、前庭や駐車場スペースを広く取り、建屋を奥側に配置し建物の存在を感じにくいように配慮していることなどから、新道の駅の来場者に対してマイナスイメージを与えることはないものと考えている。目隠し的な植栽については、植栽した常緑樹の一部に枯れ木が見られたことから、4年度に植え替え作業を行っている。引き続き適正管理に努めていく。



## 問 学校給食無償化は

## 答 令和5年度から実施する



さかもと 正 議員  
坂本 (新 生 会)

**問** 令和4年第1回定例会でも質問したが、学校給食を小中全ての給食費を完全無償化する考えはないか。

**佐々木教育長** 給食費の負担は、一定の収入以下の世帯に対して、就学援助制度により給食費を無償としているほか、町独自の負担軽減策として児童生徒の3人目以降の無償化を実施している。完全無償化は将来にわたって安定的な給食事業とするためにも、財源上の課題があり、難しいものと考えているが、保護者へのさらなる負担軽減については、引き続き検討していく。

**問** 無償化は難しいとのことだが、単費で試

算すればいくらかかるのか。

**芳賀教育次長** 給食費分として4200万円程度となる。

**佐藤町長** 問題は恒久財源であり、そのところを検討してきた。本

来であれば町長の施政方針などで話すべき問題であるが、恒久財源がここにきてめぐつたことから、令和5年4月から無償化を実施する。



子どもも親も笑顔の給食となることに期待

## 問 船越公園の整備は

## 答 芝の最終整備を行う

**問** 船越公園、浦の浜海水浴場、カキ小屋などの施設など、一体的に活用する魅力的な観光ができる場、レクリエーションの拠点として、町内外から観光客の誘致を図り、また、以前から質問しているとおりパークゴルフ場や雨風を防ぐ大型施設などを整備してほしいが今後の見通しは。

**町長** 船越公園一带は年間を通して多くの方が訪れ、山田の豊かな自然を満喫し、来訪者同士の交流を深める憩いの場としてはもちろん、毎年多くの観光客が足を運ぶ観光スポットとして広く知られている。

また、入江田沼南側に整備中のパークゴルフ場についても、近年の競技人口の増加傾向に伴い、町内外からの多くの来場者が期待できる。

5年度は、芝の最終的な整備を行いながら、管理棟やトイレ等といった大会の開催には欠かせない施設や、より魅力ある観光地となるよう周辺施設の設計業務を実施する計画である。

**問** 豊間根地区の振興は

**答** 交流人口の創出を図る



きく ち こう めい  
菊 地 光 明 議 員  
( 新 生 会 )



集会所建設予定地である旧豊間根中学校

**問** 令和4年9月の定例会においても指摘したが、山田北インター完成に向けて新しい豊間根地区の街づくりの方向性について、集会所施設をはじめ下水道整

備など各種施設の取り扱い。

**佐藤町長** 豊間根地区

の新たな集会所施設は、支所機能も有する施設として旧豊間根中学校校舎跡地に建設することで地域との合意を得ており、7年4月の供用開始に向けて進めていく。旧荒川小学校校舎は、山田北インターフル化に向けた町の活性化に資する施設として、ウイズコロナを見据えた新しい働き方として普及しているテレワーク対応のワーケーション施設など関係人口や交流人口の創出が図られるよう検討する。下水道整備は、財政負担が大きいことから、当面、浄化槽設置整備補助事業を継続し、個別に対応していただく考えである。

**問** 下水道整備に費用がいくらかかるのか。

**田畑上下水道課長** 勝

山地区の概算事業費は、約13億円と試算している。

**問** 各地区の詳細設計について詳しく説明せよ。

**上下水道課長** その他

の地区について、事業費がどのくらいになるのか調べてみたい。  
**問** 4年度と5年度に事業スキームの検討を進めるとのことだったがどうか。

**町長** 山田北インター

のフル化による整備効果を最大限に活用するため、山田北インター周辺の活性化策を検討し、工業団地の整備や企業誘致に取り組むなど働く場の確保に向けた取り組みを進めることにしている。

**問** まちなか振興策は

**答** 誘客イベントの開発に取り組む

**問** 新・道の駅についても完成間近になっているが、交流人口を増加させるため、どのような事業を行うのか。

を高めていくほか、各種イベント等を継続して実施する。また、オートキャンプ場の再開に取り組む。

**町長** 町の特産品を広くPRし、特産品需要



議員 木村 洋子  
（日本共産党）

**問** 妊産婦のタクシー代助成は

**答** 片道3千円を超えた額を助成

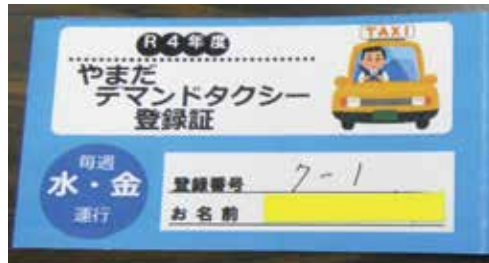
**問** 本町では、町内に分娩施設がないため、宮古などの遠方へ健診、分娩等に通わなければならない。妊産婦のタクシー代助成は以前より要望していたが、どのようになるのか。

**答** 診、出産に伴う入院、一か月児健診にかかる通院費に対し、自宅から医療機関までの片道料金で3千円を超えた額を全額助成する。  
**問** 償還払いではなく、乗車時3千円の支払いで済むようにしてもらえないか。  
**濱登健康子ども課長** 次年度の検討課題としたい。

**問** 宮古までのデマンドタクシー運行は

**答** 町外への運行は考えていない

**問** 豊間根地区においてコミュニティバスに替わりデマンドタクシーが導入される予定の8地区で懇談会が開催された。導入はほぼ了承されたようだが、その他の意見として宮古の病院までデマンドタクシーを通してほしいとの住民の声が多く聞かれた。通常のタク



交通空白地解消の切り札として期待

シーでは料金が高額になるため住民にとって切実な要望であるが、町の対応は。  
**町長** コミュニティバスとデマンドタクシーは、町内の交通空白地の解消と高齢者等の交通弱者を支援する取り組みであり、町外への

**問** 拙速に進めれば禍根を残すのでは

**答** 地域住民の理解得ながら進める

**問** 船越小学校の統合は、地域にとって重要な問題だ。拙速に進めるべきでないし、このまま統合に突き進んでは禍根を残すのでは。  
**佐々木教育長** 今後の教育環境を考えていく

中で船越小学校児童の保護者が出した結論は尊重すべきものと受け止める。10年後20年後の子どもたちの姿を見据え、地域住民にも理解していただきながら統合を進めていきたい。

**用語解説** デマンドタクシー

自宅などから目的地までの要望（デマンド）に沿った送迎を行う乗り合いタクシーのような移動サービスです。

◆電気料金の軽減策は  
◆建物の耐震化の状況と促進策は

その他の質問

**問** 山田北ICにいつごろの完成を望むか



議員 藤 克典 (政和会)

**答** 現時点では示せない

**問** 山田北インターのフル化については、昨年、国直轄事業として採択された。フル化に伴い、移動時間の短縮による物流への好影響により周辺地域への新たな企業の進出等、産業の活性化、また救急医療を担う県立宮古病院への所要時間の大幅な短縮と地区住民にとって、真に命を守る道路と成り得るものと思う。今後、町も協力して事業を遂行していくと思うが、町としてはいつごろを目途に工事着手、完成を望んでいるのか。

**佐藤町長** 現在、事業を担当する三陸国道事務所では、現地での測量調査業務を進め、町では関係地権者に対す



フル化へ早期完成が望まれる山田北IC

る個別説明や相談対応などにあたるなど、協力して事業の推進に取り組んでいる。町としては一日も早い完成を目指しているところであり、工事時期や完成時期の見通しについては都度確認しているが、現時点では示せないとのことである。今後とも同事務所と連携を密にして工事実施に向けて着実に準備を進めるとともに、国に対しては継続して整備費予算の確実な配分を要望するなどの早期整備に向けた取り組みを推進する。



8年度の工事着手を目指す田名部地区圍場

**問** 現時点での建設用地の地権者数はつかないか。

**佐々木建設課長** 現在、三陸国道事務所で測量調査を進めており、その結果により用地買収の対象となる地権者数が明らかとなるため、現時点で確定的なことはお答えできないが、相続人や隣接土地所有者を含めた関係地権者の総数は30人程度である。

**問** 用地買収は順調に進むと思われるか。

**建設課長** 交渉の先々では地域のためにぜひ協力したい旨のお話をいただいております。現在のところ順調に進んでいるものと認識しています。

**問**

田名部地区圍場整備の進捗状況は

**答**

先行して国土調査を実施

**問** 田名部地区圍場整備事業の導入に向け、事業主体である県と連携し計画調査に取り組んでいくとのことだが、現時点での進捗状況はどうか。また、工事の着手と完成の目標年次は。

**町長** 田名部地区圍場整備事業の進捗状況については、公図と現況の不整合や登記簿面積と実測面積の差異などを解消するため、先行して国土調査事業を実施している。国土調査の成果をもとに5年度から6年度にかけ事業計画、営農ビジョンを策定し、7年度の事業採択を見込み、8年度の工事着手、10年度の完成を目指している。

**問** 現在、国土調査により面積を精査しているとのことだが、大きな事業面積はつかないかと思っております。

**佐々木農林課長** 現時点では、34ヘクタールとなっております。

**要望** 田名部地区の水田は区画が小さいことから、現状のままだと遊休農地が増加する。県と連絡を密にして可能な限り早い時期に工事を進めてもらいたい。

その他の質問

- ◆子育て家庭に寄り添った支援を
- ◆移住定住支援事業は利用がどのくらいあったか
- ◆船越家族旅行村の施設整備内容は
- ◆業務改革推進室の業務内容は



議員 こと 信 根 間 豊  
(政 和 会)

**問** 小中学校教育の現状と課題は

**答** 中学校一部生徒による問題行動

**問** 山田小新校舎建設工事も進みはじめ、より素晴らしい教育環境への向上が期待され、中学校との連携をはじめとした先進的・効果的な教育体制構築にも期待をしている。最近山田中学校の学校運営状況について様々な声を聞くが、管理運営の現状・課題は。

**佐々木教育長** 山田中学校の現状として一部生徒による問題行動が発生している状況であり、学校と連携し対応に当たっている。詳細については教育的配慮を要する事案であり、現在も指導の過程にあることから答弁を控える。引き続き課題と向き合いながら対応していく。



次代の育成に具体的な取り組みが求められます

**問**

農林漁業振興の現状と課題は

**答**

高齢化など担い手不足への対応

**問** 今日まで各種施策を展開し取り組んでこられたことは町民の皆さんへの大きな力となったことと思う。しかし取り巻く環境は依然として厳しい状況であり、人材育成等をはじめとしてさらなる具

体的施策と中長期的施策への総合的な取り組みが求められる。それぞれの分野についての課題と具体的施策の取り組みは。

**佐藤町長** 人口減少や高齢化などにより担い手が不足し、生産力が

低下していることが大きな問題と捉えている。農林漁業に関わる機会を創出し、次代を担う若者が興味を持ち、仕事の選択肢の一つとして認識されるよう、小学生から高校生を対象とした体験事業

などを行うとともに、農林漁業がなりわいとして生計を維持できるように、事業継続支援に必要な施策を講じていく。

**問**

荒川地区養鶏場の煙害対応は

**答**

積極的に設備改善を要望する

**問** 開業当初より、煙害や強烈な悪臭により地域の方々は外にも出られないような状況である。その現状に地域住民が声を上げ、要望活動により改善されてきたはずであるが、依然として悪臭に悩まされている状況について、町の見解と対応は。

**町長** 気象状況により煙や臭気が漂ってしま

うことがあることから、4年度に鶏糞を燃焼させるボイラーを交換したことで、より効果的な集塵設備の導入を検討しているとの報告があった。今後も事業者に対し地域住民からの苦情に対する真摯な対応と、煙・臭気のさらなる低減と積極的な設備改善を要望していく。



議員 沢 一成 (無所属)

**問** 統合進め方が性急では

**答** 保護者の意向を尊重したい

**問** 船越小学校の保護者会から、山田小学校への統合の要望があり、その方向で進めるようだが、進め方が性急に感じる。時間をかけて地域住民に周知した上で考えるべきでは。

**佐々木教育長** 統合にはいろいろな意見があることは承知しているが、統合を希望する意向を表明した船越小の保護者の思いを真摯に受け止め、地域の方に

も理解をいただきたながら統合に向けて進めたい。

**問** 地域というのは、自分子どもでないのに、地域の子どものためだからとやってきている。十分に話し合った中で進めていただきたいがどうか。

**教育長** 次の地域説明会には、たくさんの方に来ていただき、お考えを話していただきたい。

**問** 図書館の相互利用を

**答** 交流事業などで働きかける

**問** 建設中の山田小学校の図書館は明るい雰囲気になるようだが、空教室も利用しては。また、小学校と中学校の図書館を相互利用で

きるようにしては。できれば一般も利用できるようにしては。

**教育長** 新校舎の図書館は、児童数を基準とした冊数が十分収納で

きる規模で計画しているが、内容も充実するよう進める。空教室が生じた場合は会議室や相談室、少人数指導などさまざまな用途での

使用を想定しているが、図書スペースとしての利用も一つの方法として参考にしている。図書館の相互利用は、小中学生の交流事業などの機会を捉え、働きかける。一般の利用については、図書の内容が児童生徒向けであることや、施設管理上の観点から考えていない。

**問** 企業誘致の取り組みは

**答** ニーズ調査と計画策定し検討

**問** 企業誘致の取り組みは。

**佐藤町長** 5年度から水産商工課内に「産業振興チーム」を新設し、企業誘致の推進に向けた体制を整備する。誘致に向けた土地の整備は、企業を対象にニ

ズ等を調査する「企業向け意向調査事業」や、工業団地整備の方針や基本計画を策定する「羽々の下工業団地整備基本構想・基本計画策定事業」の中で検討する。

その他の質問

- ◆豊間根地区新集会所は垂直避難を想定した設計に
- ◆入江田沼周回歩道の整備予定は
- ◆中央公園周辺の整備に町民からの提言を



船越小学校保護者会から統合の意向が示されました  
写真は令和3年度運動会の様子





議員 横田 龍和 (たつひさ 龍和)

## 問 森林環境譲与税を人材に使っては

## 答 今後、他自治体の事例を参考にする

**問** 全国の約3割の自治体が森林整備を促進するための人材育成、担い手の確保に森林環境譲与税を使っているが、山田町ではそのような考えはないか。

**佐藤町長** 5年度事業としてチェーンソー伐木等特別教育講習会の開催を予定している。

**問** 農業農村の多面的機能の重要性が高まっているが、森林にも当てはまらないか。

**佐々木農林課長** 森林の多面的な機能の保全活動はとても重要である。町でも取り組みを進めていきたい。

**問** このまま手を打たなければ、かつて13業者あった製材業者がゼロになるのではない

**問** 防災緑地公園から海側の土地の今後の計画は。

**町長** 段階的に整備を進める。5年度に「公園」「住民向け農地」の

## 答

5年度設計、6年度工事着手する

詳細設計を実施し、6年度には整備工事に着手する。

## 問

田の浜地区空き地の活用を

**問** 昨今のキャンプブーム、グランピングブームに乗って木炭製作に力を入れるのはどうか。

**農林課長** 取り組みの有効性を確認した上で、実施を研究している。



団員確保に向け積極的な支援を

**農林課長** 林業者へどのような支援ができるかは今後の課題である。

**問** 他自治体では、製材所の職員の待遇改善、人材の定着を図るために給料の上乗せ分を助成するための財源として、森林環境譲与税を使う案が出ていた。本町ではそのような考えはないか。

**農林課長** 炭焼き窯築造に対する補助を行った経緯もあり、引き続き必要な支援を行っていききたい。

## 答

消耗品費に組み替え計上している

## 問

消防団員活動補助金の継続を

**問** 消防団員の私のみならず、同僚議員も皆賛同した事業である。5年度以降も継続してほしいがどうか。

**町長** 5年度予算において、消耗品費に組み替えて計上した。

### その他の質問

- ◆ 町内の部分林組合の現状は
- ◆ 三陸鉄道へ法人向け企画列車の提案を
- ◆ 国土調査の進捗は
- ◆ 温水の町民プールを
- ◆ 第50回東北総合体育大会相撲競技で誘客を

**問** 18歳までの医療費の負担は

**答** 住民税課税世帯は一部負担がある



せき 関 きよ たか 清 貴 議員  
( 政 和 会 )



18歳までのすべての児童生徒の医療費無償化を

**問** 子育て支援に医療費の助成は大きく寄与しているが、ゼロ歳児から18歳までの医療費は無償と考えるとよい。負担はあるのか。

**佐藤町長** 未就学児と住民税非課税世帯の18

歳までの児童生徒には全額助成している。住民税課税世帯の小学生から18歳までは、1医療機関、1月当たり入院外750円、入院2500円を超える分について助成している。

**問** 医療費の無償化を考えられないか。

**中屋町民課長** 子育て支援という部分もあるので、国からの国保関連の交付金への影響を考慮し、総合的に考えていく。

**問** 新規漁業者等の負担軽減策は

**答** 漁協と情報共有し支援していく

**問** 新規に漁業を始める時に負担が大きいのが船舶、養殖施設等の購入と思われる。高齢化等で漁業を離れる方々の施設を購入保管し、新規事業者等に安価で譲渡し、継承できないか。

**町長** 漁船等の譲渡や継承のシステムについて、新規に漁業を始めたい方には町の既存事業で支援しつつ漁協へ情報をつないでいく。

**問** 新規に漁業を始めると、新規に漁業を始めるとの費用負担が大きいことは認識している。漁協では漁船を手放すなどの情報があれば紹介等をしている事例もあることから、新規に漁業を始めたい方には町の既存事業で支援しつつ漁協へ情報をつないでいく。

**問** 林業振興策を図るため自伐型林業を

**答** 実践には山林の確保等の課題が

**問** 森林再生による町土の保全、循環型社会への取り組みを図るために自伐型林業による

**町長** 新たななりわいの創出、移住・定住の促進、災害防止などの効果が期待されるが、山林の確保や初期費用の面で課題もあり、今後研究していきたい。

その他の質問

- ◆ 子ども家庭総合支援拠点事業の強化を
- ◆ 林道沢田線の完成時期は
- ◆ 防災情報伝達の強化は
- ◆ 消防水利の整備状況は
- ◆ 老朽化した町民運動公園の改善は

**用語解説** 自伐型林業

限られた森林の管理、伐採などを自らが永続的に行う、持続可能な森林経営手法です。

# 自治功勞表彰

## 5名の議員が受賞



このほど、本町議会から5名の議員が自治功勞表彰を受けました。この表彰は本町議員が議会活動を通じ地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることが高く評価されたものです。3月2日、昆議長より各議長会の表彰状の伝達式が行われました。

### 全国町村議会議長会

#### 議員27年表彰



きっかわ としこ  
吉川 淑子議員

#### 議員15年表彰



やまざき やすまさ  
山崎 泰昌議員

### 岩手県町村議会議長会 議員11年表彰



とよまね まこと  
豊間根 信議員



きむら ようこ  
木村 洋子議員



さかもと ただし  
坂本 正議員

# みんなの「声」 vol.21

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。

表紙に登場いただいた阿部さん家族にお話を聞きました。



左上から  
 樹<sup>いつき</sup>さん、楓華<sup>ふうか</sup>ちゃん（12歳・長女）、義隆<sup>よしたか</sup>さん  
 彪生<sup>ひゅう</sup>くん（8歳・長男）、優乃華<sup>ゆのほ</sup>ちゃん（6歳・次女）

## 子育てしやすい環境を

### ——町の良いところは

自然が多く、海産物が豊富でおいしいところ。

### ——町に望むことは

子育てしやすい環境づくりと医療の充実をお願いしたい。

子どもたちが雨でも公園のように利用できる(体を動かせる)室内の施設がほしい。

### ——子どもに望むことは

一期一会を大切にしてほしい。

感謝の気持ちを忘れずに元気いっぱい伸びのび成長してほしい。

# 傍聴席から ひとこと

No. 63

## 人口減少という大きな問題に力を注いでほしい

おおかわ ようぞう  
 大川 洋三 さん

東日本大震災から12年になった。この間、当町において昼夜を問わず復旧復興に尽力され、大きな事故もなく完了された町長はじめ職員、議員に対し感謝の言葉しかない。

しかし、震災時当町の人口は18000人ほど、現在は約14000人。これに伴い、町の経済を支える漁業者の減少が著しい。

こうした人口減少を重く受け止め、この年を新しい山田構想への出発点として捉え、漁業及び観光等あらゆる分野に若者が安心して生活できるような大胆なビジョンを持って人口減少という大きな問題に対して力を注いでもらいたい。

近年中高生による町との意見交換会を実施していることに対しては、町の考えを質すということで大変有意義なことと思っている。町としてしっかり受け止めてほしいものだ。

私は女性の社会進出を期待している者として常々考えていることに、女性だけの模擬議会はできないだろうか。初めての試みだと思うがどうだろう。女性の目線から見ると町の現状と将来像、また、長い間の素朴な疑問等あると思う。そういう声を聞く場として前向きに考えてほしい。

今年は選挙の年。町の将来像を描いたプロジェクトを掲げ、町議選に挑む方が出ることを期待している。

### ◆発行責任者

議長 昆 暉 雄

### ◆議会広報編集特別委員会

委員長 菊 地 光 明  
 副委員長 阿 部 吉 衛

委員 阿 部 幸 一  
 委員 横 田 龍 一  
 委員 豊 田 吉 信  
 委員 阿 部 龍 一  
 委員 昆 地 光 明

あ  
と  
が  
き

▼東日本大震災から12年の歳月が過ぎ、多くの方々が犠牲になられた未曾有の被害、被災された方々のあの日、あの時の思いはこれからもしっかりと風化させることなく、さらなる福祉の向上、町政発展へ一丸となり取り組んで行かなければと思つた次第です。▼WBCでの日本チームの素晴らしい活躍に一喜一憂し、仲間を信じ、努力は報われると示してくれた選手たちから感動を頂きました。▼今議会の傍聴には多くの町民の皆様においでいただきまして心よりお礼申し上げます。ぜひまた傍聴へおいでいただけるよう取り組んでいかなければと励みになった定例会でありました。(豊間根信)

やまだ議会だより No.179 令和5年5月1日発行  
 発行/岩手県山田町議会 編集/議会広報編集特別委員会  
 〒028-1392 岩手県下閉伊郡山田町八幡町3-20 ☎0193-82-3111(内線511)FAX0193-82-4989 ホームページアドレス http://www.town.yamada.iwate.jp/chousei/gk/